

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調書

様式11

No. 14010010

政策目標	2 【安心感の持てる福祉のまち・雄武】～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 国保病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A	
単位施策	5 地域医療の確立	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	医師確保対策事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～平成34年度	担当課	14 国保病院	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	地域医療体制の維持	関係課	#N/A	
事業目標	常勤医師3名	関係例規・法令名		
町民参加	有 雄武町国民健康保険病院運営委員会	関係個別計画名		
町民協働				

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容
計画 内容	◆医師確保対策 ・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	・情報収集、面談旅費 ・民間医師紹介業者への求人 ・非常勤医師紹介業者からの仲介派遣
	計画 事業費	事業費(千円) 30,000 国庫支出金 20,000 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 10,000	6,000 4,000	6,000 4,000	6,000 4,000	6,000 4,000
実績 事業費	事業費(千円) 7,624 国庫支出金 5,758 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,866	7,624 5,758	0	0	0	0
	特定財源の名称 国保調整交付金	【評価・実績】 ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの仲介派遣 ※事務事業評価結果	(実施内容等) ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの仲介派遣 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
関連 事項	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名
		年度達成率	127%	0%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	25%	25%	25%	25%
		備考欄				

事業名	医師確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成30年度実施
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	常勤医師の確保による安定した医療体制の確立	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常勤医師を確保し、安定した診療体制を維持するとともに、安心感のある医療の支援を目指す	① 常勤医師の確保	目標年度 平成30年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民への安定的な医療支援が可能となり、町民の健康・安全及び効率的な病院運営が図られる		目標値 3名
			達成度 33.3%
		②	目標年度 平成30年度
			目標値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	常勤医師の確保	医師求人情報掲載(有料ホームページ等)、医師紹介業者及び関係協力機関からの仲介派遣等	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安定した医療体制の構築のためには必要な事業であり、安全かつ効率的な地域医療体制の確保は、公立病院開設者である町としての責務である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	常勤医師の増員(確保)は達成できなかったが、非常勤内科医師の平日診療のほか、旭川医大からの小児科及び耳鼻咽喉科医師の定期派遣をうけ、町民の受診機会の確保が図られたため、概ね有効であった
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	効果的な方法を常に検討しながら対応しているが、全国的な医師不足及び地域性の課題から、直ちに確保が図られるという状況にはないが、民間医療機関との連携により、安定的な医師派遣及び新たな診療体制等の検討を行うことができた
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	常勤医師の増員には至らなかったが、非常勤医師及び派遣医師による計画的な診療体制の確保が図られた	

今後の展開方向
(Action)

	継続/現状維持	
	社会情勢や地域課題もあり、目標達成は困難な状況にあるが、官民を問わず引き続き関係機関との積極的な連携強化を図り、常勤医師確保に取り組むとともに、病院機能として安定した診療体制を確立するため、常勤換算3名以上を維持していく。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調書

様式11

No. 14010020

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	地域医療の確立	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	病院情報ネットワーク整備事業		見直し年度			
事業期間	平成30年度～平成34年度		担当課	14	国保病院	
事業主体	雄武町		関係課		#N/A	
事業指標	電算システム運用数				#N/A	
事業目標	5件(リース含む)		ハードソフト事業区	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	医療法・薬事法	
町民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容	
計 画 内 容	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム更新(リース) ◆オーダーリングシステム更新 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダーリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダーリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダーリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダーリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守 ◆オーダーリングシステム更新	◆医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ◆レセプト電算システム保守 ◆オーダーリングシステム保守 ◆看護記録システム保守 ◆医薬品情報管理システム保守	
	事業費(千円)	65,000	5,000	5,000	5,000	45,000	5,000
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	40,000			40,000		
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	25,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	4,796	4,796	0	0	0		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	国保調整交付金		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】	●医事・会計・健診・薬品在庫システム保守 ●レセプト電算システム保守 ●オーダーリングシステム保守 ●看護記録システム保守 ●医薬品情報管理システム保守 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	第5期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	5件(リース含む)	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	後期計画への継続(継続有り)	年度達成率	96%	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	(継続有り)	全体達成率	7%	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
(継続有り)	備考欄						

事業名	病院情報ネットワーク整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成30年度実施
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	迅速かつ正確な医療サービス支援体制の構築	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	医療関係システム整備による医療支援とサービスの向上をめざす	① 医療関係システムのリリース	目標年度 平成30年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	正確な医療情報の処理と円滑かつ迅速な会計処理及び多様化する健診業務の対応が可能となる		目標値 5件
		②	達成度 100.0%
			目標年度 平成30年度
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医事・会計・健診・薬品在庫システムのリリース	医療基幹システムによる情報管理	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	医療にかかるネットワークシステムの構築は、正確かつ迅速な医療体制維持のために必要である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	医療基幹システムの活用により、安定した医療体制が図られた
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	システムリリースによる単年度経費の圧縮が図られ、医師・コメディカル・事務等医療スタッフ間の情報共有においても、一元的な管理が行われた
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療関係システムは、正確かつ迅速な医療の提供には不可欠であり、サービス向上が図られている		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民が安心して医療サービス支援には、適切なシステム構築を図ることが必要であることから、今後計画されるシステム更新に際しては、院内全体での協議を深める		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調書

様式11

No. 14010030

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療の確立	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	医療機器整備事業		見直し年度			
事業期間	平成30年度～平成34年度		担当課	14	国保病院	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	更新機器数		ハードソフト事業区分	#N/A		
事業目標	10機器以上		1	ハード事業		
町民参加 町民協働	無		関係例規・法令名 関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容	
計 画 内 容	◆医療機器の更新 ・透析部門機器 ・検査部門機器	◆医療機器の更新 ・輸液ポンプ ・血液凝固分析装置	◆医療機器の更新 ・血球自動分析装置	◆医療機器の更新 ・スパイロメーター ・グルコース測定装置 ・尿化学分析装置	◆医療機器の更新 ・グリコヘモグロビン分析装置	◆医療機器の更新 ・透析装置6台、水処理装置、 除細動器 他	
	事業費(千円)	54,972	2,322	5,184	5,762	6,712	34,992
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	2,000					2,000
	道支出金	0					
	地方債	50,380		5,100	5,680	6,700	32,900
	その他	0					
一般財源	2,592	2,322	84	82	12	92	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	864	864	0	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	864	864					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	国保調整交付金	【評価・実績】	●輸液ポンプ更新				
	病院事業債						
	過疎債						
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2機器以上	1機器以上	3機器以上	1機器以上	6機器以上
		年度達成率	37%	0%	0%	0%	0%
後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	2%	2%	2%	2%	2%	
	備考欄						

事業名	医療機器整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成30年度実施
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化等に伴う更新及び最新医療機器の導入	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	患者のニーズに即した医療機器の整備により、適切な医療の提供をめざす	① 医療機器の整備	目標年度 平成30年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適切な医療の提供により、町民の健康増進が図られる		目標値 2機
		達成度 50.0%	
		②	目標年度 平成30年度
			目標値 〇〇
		達成度 #DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医療機器の更新及び導入	入札による購入	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安定かつ適切な診療体制を維持するため、患者のニーズに即した医療機器の計画的な更新(導入)は必要である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	病棟にかかる機器(輸液ポンプ)の更新により、医療支援体制及びサービス提供の向上が図られた
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	更新機器の選定並びに購入費等の精査を行い、事業費の抑制を図るとともに、更新を検討していた血液凝固分析装置については、外部コンサルからの助言(利用頻度及び緊急性等)により更新を見送った
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療機器の計画的な整備により、安定かつ適切な医療サービスの向上が図られている		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民が安心する医療サービスの提供及び医療機器の経年劣化等に対応するため、計画的に整備を行うとともに、更新時には改めて必要性等を再検証する必要がある		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調書

様式11

No. 14010040

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載	
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B			
単位施策	5	地域医療の確立	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)		
事業名	医療従事者確保対策事業		見直し年度				
事業期間	平成30年度～平成34年度		担当課	14	国保病院		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A			
事業指標	安定した医療を提供する病院施設		関係例規・法令名	#N/A			
事業目標	1施設		関係個別計画名				
町民参加	有						
町民協働	雄武町国民健康保険病院運営委員会						

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容
計 画 内 容	◆医療従事者確保対策 ・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載
	事業費(千円)	2,500	500	500	500	500
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	2,500	500	500	500	500
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,000	1,000	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,000	1,000			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ●求人依頼(紹介) ●広告掲載(無料)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1施設	1施設	1施設	1施設
		年度達成率	200%	0%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	40%	40%	40%	40%
		備考欄				

事業名	医療従事者確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成30年度実施
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	看護師等の医療技術職員の確保が極めて困難な状況となっており、適時適切な職員の雇用が求められる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	病院として求められる機能維持のために必要とされる医療技術職員の確保	① 医療技術職員確保	目標年度 平成30年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民に対して、安心感のある良質な医療サービスの提供		目標値 3名
			実績値 3名
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成30年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	関係機関等への要請及び民間紹介会社の活用	町HP及びハローワークのほか、民間事業者HP(成功報酬制)への掲載、民間事業者からの紹介	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	医師の確保と同様に、医療技術職員の必要数確保は病院機能の維持において重要であり、必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	通年募集している看護師について、未だ充足されていない状況であるが、民間事業者からの紹介により1名確保することができたことから、概ね有効であり、今後の人材確保方法の一案となった
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町HP及びハローワークへの募集掲載のみでは、効果が乏しかったが、民間事業者等からの情報収集や紹介により、即時性の高い人員確保が図られた
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公的機関及び民間事業者に対しても求人要請は継続しており、欠員補充を図ることができた部署もあったが、完全充足となっていないことから、事業者の拡大等も検討する		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
医療技術職員の確保は、医師確保と同様に病院機能維持のためには不可欠であることから、引き続き適切な募集を行う必要がある		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調書

様式11

No. 14010060

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	地域医療の確立	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	病院環境整備事業		見直し年度			
事業期間	平成30年度～平成34年度		担当課	14	国保病院	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	環境を整備すべき病院施設数		関係課	#N/A		
事業目標	1施設		ハードソフト事業区	1	ハード事業	
町民参加 町民協働	無		関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容	
計 画 内 容	◆病院設備環境の整備 ・呼出表示機更新(リース) ・空調設備改修 ・エレベータ設備改修 ・PBX装置更新 ・ナースコール装置更新 ・エアコン設備整備工事	・呼出表示機更新(リース) ・空調設備改修(熱源機器類) ・エレベータ設備改修	・呼出表示機リース ・空調設備改修(冷暖房機器類) ・エアコン設備整備工事	・呼出表示機リース ・空調設備改修(空調機器類)	・呼出表示機リース ・空調設備改修(空調機器類) ・PBX装置更新 ・ナースコール装置更新	・呼出表示機リース ・空調設備改修(熱源機器類)	
	事業費(千円)	66,180	2,850	29,620	3,150	27,830	2,730
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	52,000		27,000		25,000	
	その他	0					
一般財源	14,180	2,850	2,620	3,150	2,830	2,730	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,393	2,393	0	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,393	2,393					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	病院事業債 過疎債	【評価・実績】	●空調設備改修(熱源機器類)				
			●エレベータ設備改修				
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
			A-継続/現状維持				
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設
後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	84%	0%	0%	0%	0%	
	全体達成率	4%	4%	4%	4%	4%	
	備考欄						

事業名	病院環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成30年度実施
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	空調設備及びエレベータ設備の経年劣化により、院内の温度調整や安全な移動等に支障が生じることから、快適な医療受診環境への改善を図る必要がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	入院患者及び外来患者等への快適な受診環境の提供	① 施設維持のための工事数	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	入院患者への療養環境及び外来患者等への受診環境の改善が図られ、快適な医療サービスの提供が行われる		平成30年度 3件 2件 66.7%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	空調設備及びエレベータ設備の改修工事	設備管理委託事業者による施工	②
			平成30年度 目標値 実績値 達成度
			〇〇 〇〇 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	入院患者や外来患者が快適な環境での治療を受けるため必要な事業である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	経年劣化等に伴う空調及びエレベータ設備の改修により、快適な治療環境が維持されたことから有効である
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	設備管理委託事業者との協議をかさね、効率的な施工とするため一部の部品交換による改修工事にとどめる等、事業費の抑制が図られた。また、呼出表示機更新については、必要度を鑑みて当該年度での更新を見送った
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
呼出表示機更新については、再考することとし実施を見送ったが、空調及びエレベータ設備の改修により快適な病院環境の整備が図られた		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も利用者が快適かつ安心して治療に専念できるよう、計画的な病院環境整備が必要である		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調書

様式11

No. 14010070

政策目標	2	【安心感の持てる福祉のまち・雄武】～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	地域医療の確立	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	病院長公宅整備事業		見直し年度			
事業期間	平成30年度		担当課	14	国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	公宅建築数		ハードソフト事業区分	#N/A		
事業目標	1戸		1	ハード事業		
町民参加 町民協働	無		関係例規・法令名 関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容
計 画 内 容	◆病院長公宅の整備 ・住宅等建築工事 ・外構工事	・住宅、屋外物置併用車庫 建築工事 ・外構工事				
	事業費(千円)	45,473	45,473	0	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	45,473	45,473				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	42,131	42,131	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	33,500	33,500			
その他	0					
一般財源	8,631	8,631				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	公営企業債		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		●住宅、屋外物置併用車庫 建築工事			
			●外構工事			
			※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続	年度目標値	1戸			
		年度達成率	93%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
後期計画への継続	全体達成率	93%	93%	93%	93%	93%
	備考欄					

事業名	病院長公宅整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	常勤医師の長期定住による安定した医療体制の確立	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常勤医師(院長)の居住環境(立地条件を含む)を整備することにより、負担軽減と定着化が図られる	① 院長公宅整備	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民への安定的な医療支援が可能となり、町民の健康・安全及び効率的な病院運営が図られる		平成30年度 1戸 1戸 100.0%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	院長公宅(外溝工事を含む)の整備	時間外(救急)患者対応等の負担軽減を図るため、病院敷地内に院長公宅を整備	②
			平成30年度 目標値 実績値 達成度
			〇〇 〇〇 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	病院長の負担軽減と定着化に向けた対策として、病院敷地内への院長公宅整備により、安定的な医療体制が構築できることから、必要な事業である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	医師の定着による安全かつ効率的な地域医療体制の確保は、公立病院開設者である町としての責務であり、院長の負担軽減も図られている
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	病院敷地内への整備により、宅直等の運用が可能となり、かつ常勤医師1名体制のなか、緊急時に迅速な対応が可能となり、効率的な病院運営が図られた
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかわるものであることから、本事業は公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
当初の計画どおり公宅及び附帯設備等の整備が図られ、負担軽減と定着化への効果が期待できる		
↓	↓	↓
今後の展開方向 (Action)		
終了		
現在の常勤医師は院長1名であることから、本事業の完了を持って終了とする		

※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止